2026.11.10　毎月10日発行

COM vol.458

OKAYAMA DOYU NEWS PAPER!

CONTENTS

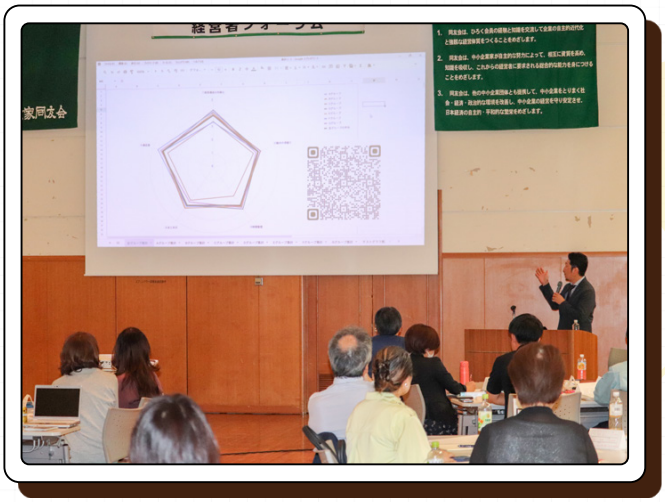
●コラム●経営者フォーラム（兼グループ長学習会）●副実行委員長挨拶●同友会研修会●変革支援プログラム登録強化・普及月間特集●理事会報告●あなたの知らないわが社のヒミツ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



経営者フォーラム二〇二六（兼第三回グループ長学習会）

「知っている」から「できる」へ
―「今日は一日グループ討論三昧」を開催



十月十四日（水）、岡山国際交流センターにて、経営者フォーラム二〇二六「今日は一日グループ討論三昧」が開催されました。本企画は、二〇二七年二月開催の第五十七回中小企業問題全国研究集会in岡山（全研岡山）に向けた、全研実行委員会主催の第三回グループ長学習会として実施されました。

開会挨拶と趣旨説明では、全研岡山副実行委員長の木本康大氏（㈱ファーストディレクションTAKEKICHI代表取締役）が、グループ長に求められる「引き出す力」「伝える力」「まとめる力」について説明。これらはグループ討論だけでなく、会議や交渉、自社経営にも通じる能力であり、実践とフィードバックを重ね、「知っている」から「できる」へと成長することの重要性を伝えました。

続いて、㈱クリエイト岡山代表取締役の梅田光悦氏がミニ報告を行い、その内容を踏まえて全三回のグループ討論を実施しました。テーマは、第一ラウンド「『社員が報われる会社』とは／自社に足りないもの」、第二ラウンド「経営者の幸せと、理念・ビジョンのつながり」、第三ラウンド「理想と現状のギャップを埋める課題設定」。各回でグループ長を交代し、討論終了後には、討論内容と進行の双方について振り返りました。

各グループからの報告では、討論の目的やゴールを事前に共有すること、メンバーの言葉を丁寧に拾うこと、普段とは異なる角度から問いかけることなど、議論を深める工夫が挙げられました。一方、発言を引き出すことに集中して深掘りが不足したことや、時間管理が難しく最後のまとめが圧迫されたこと、議論が脱線した際の軌道修正などが課題として共有されました。また、テーマ設定や事前準備の重要性、失敗から学ぶ姿勢、メンバー同士の自由な意見交換を促す進行についても意見が交わされました。

全体講評で木本氏は、発言機会はおおむね確保できていたものの、議論が盛り上がるが交わされました。



浅野 浩一 実行委員長

（次ページへ続く）

点滴穿石

気心の知れた旧友と、約一年をかけて四国八十八か所を巡り、結願のお礼参りに高野山奥之院を訪れました▼長い道中、昔話に花を咲かせ、時にはこれからの人生を語りながら、一つひとつ札所を重ねてきました。「同行二人」という言葉のように、一人で歩いているようで、一人ではないことを感じる旅でもありました▼振り返れば、経営もお遍路によく似ています。順調な時ばかりではなく、迷い、立ち止まり、思うようにいかない時もある。それでも多くの仲間やご縁に支えられ、一歩ずつ前へ進む。その積み重ねが、いつしか大きな道のりになるのだと思います▼高野山で弘法大師さまに結願をご報告し、一区切り。しかし、経営も人生もここがゴールではありません。次なる挑戦は「四国別格二十霊場」。八十八に二十を加えて百八、煩悩の数と同じです▼まだまだ煩悩を抱えながら、旧友と新たな景色を求め、次の一歩を楽しみたいと思います

（獅子丸）


梅田 光悦 氏

中で時間配分が崩れ、意見の深掘りやまとめが不十分になる傾向を指摘しました。参加者が自分の発言の意義を実感し、具体的な行動につなげるための時間管理と意見集約の重要性にも触れ、社内会議にも通じる課題として振り返りました。

さらに、同友会の理念「自主・民主・連帯」について、一人ひとりの違いを認め合い、人と人との関わりの中で生きていることを知る点に本質があると説明。多様な背景を持つ経営者が意見を交わし、議論をまとめるグループ討論は、理念を実践する場でもあると述べました。また、普段は発言の少ない社員が会社を支えるアイデアを持っている可能性にも言及し、経営者が一人で抱え込まず、社員とともに考える関係を築くことの大切さを語りました。



閉会挨拶では、浅野浩一実行委員長が約二時間半にわたる討論を振り返り、グループ長の役割は進行の手順を身につけることにとどまらず、メンバーが学びを持ち帰り、「集まって良かった」と感じられる場をつくることだと述べました。そして参加者が悩みや意見を率直に語り合い、より良い会社づくりについてともに考える場の重要性を確認し、閉会となりました。

次回、第四回グループ長学習会は十二月九日（水）十八時より、岡山国際交流センターにて開催予定です。（O）

当日のスケジュール

当日は、討論45分＋評価入力・振り返り15分+休憩10分を１ラウンドとして、これを３回実施しました。評価入力は２次元コードを読み込み、Googleフォームにアクセスして、各設問に回答する形式で行いました。

時間	内容
12:30	開会挨拶・趣旨説明、ミニ報告（㈱クリエイト岡山　梅田氏）
13:20	第1ラウンド 討論テーマ　「『社員が報われる会社』とはどのような会社か。自社に足りないものは何か。」
14:30	第2ラウンド 討論テーマ　「経営者自身の幸せと、会社が目指すもの（理念・ビジョン）とは、どのようにつながっているか。」
15:40	第3ラウンド 討論テーマ　「自社の理想の姿（経営理念・ビジョン）と現状とのギャップを埋めるために、どのような課題を設定しているか。」
16:50	グループ内総括・発表
17:20	全体講評・閉会挨拶



第 57 回　中小企業問題全国研究集会 in 岡山　分科会一覧

第１分科会	人を生かす経営と人権（中同協） 人を生かす経営と人権 ～「ビジネスと人権」を超える企業のあり方	第７分科会	事業継続と事業承継（北海道） 任せて育てる組織が承継を成功させる ～事業承継を会社成長の起爆剤に
第２分科会	人材難時代の中小企業経営（鹿児島） 人材難時代の中小企業経営「選ばれる会社、居続けたい会社とは」 ～人を生かす地方企業が日本を変える	第８分科会	中小企業と金融（広島） 地域金融と企業の未来 ～同友会と金融機関・行政、双方の立場からアセス運動の成果と課題を確認し今後を展望する
第３分科会	インフレ下の中小企業経営と賃上げ（中同協） インフレ下の中小企業経営と持続的な賃上げ ～調査データから探る価格転嫁・生産性向上の可能性	第９分科会	人口減少時代における中小企業と地域（岡山） 地域を支える中小企業の役割と責任 ～課題先進地・新見から問う、中小企業による地域づくりの可能性と限界
第４分科会	公正な取引と価格決定権（三重） 下請から共創へ ～価格交渉力を持てる領域への挑戦	第 10 分科会	平和・国際環境と中小企業経営（中同協） 平和・国際環境と中小企業経営 ～中小企業は世界の平和にどう向き合うか
第５分科会	中小企業と技術革新（DX、AI、ロボティクス等）（静岡） AI 時代に、「人を生かす経営」を問い直す ～既存事業と新規事業をどう両立し、経営者は社員とどう進むのか	第 11 分科会	中小企業と産業政策（愛知） 「コストカット型経済」を超えて ～人間の暮らしを支える「ものづくり」と、これからの日本経済
第６分科会	中小企業の環境対応とエネルギー問題（大阪） 人を生かす経営と環境経営は自社経営の両輪		

経営者フォーラム二〇二六（兼第三回グループ長学習会）アンケートより抜粋

●「良いグループ討論とは？」を考え、実践できる場であったとともに、グループ討論を通じての自社への生かし方（声を吸い上げ、まとめ、活かす）についても、同友会のグループ討論＝チャレンジ、自分のグループ長としての課題を見つける機会なのだと感じました。一方、本日参加されていない方をはじめ、新会員にとっては「グループ長のハードルが高すぎて、例会参加自体が億劫になる」という声もあり、新会員で議論のファシリテートがそもそも得意でない方がどのようにグループ長の経験を積んでいくかは各支部で考える必要もあると感じています。

●グループ討議を三回繰り返す本日のやり方は斬新でした。ワークショップ的な位置付けと理解し、実際にグループ長を行う際のイメージがつきやすかったと思います。「問いの立て方」「討議の柱の分解の仕方」「場の温め方」など意識しようと思っています。

●グループ長がメンバーをリードしようとし過ぎると良くない。メンバーを信じて手綱を握る役目を感じた。一回目、二回目の勉強会での学びを共有する場があれば、もっと今回の実践に活かせたかとも思いました。

●目的と着地点を明確にして、会議を進めなければいけないな、と思いました。

●討議の柱で深掘りするためには、事前準備、振り方、話し合いの前の時間の仕切りの重要性（目的・ゴール共有）、キーワードを広げ膨らませること、自由な発言、任せることも重要であることがわかりました。

●休憩中に「グループ長ってどうやればいいの？」という一人の自己開示から、メンバーがそれぞれ課題や考えを共有し、第二、第三ラウンドに臨みました。その結果、一日を通じて一つのゴールを全員で目指すことができ、それこそが普段の例会でのグループ討議の理想であり、ひいては自社でのコミュニケーションや経営の形なのだと学びました。

●同じメンバーで三度もの討議、グループ長について、実践しながら深め合える貴重な機会でした。普段は、各社個別の経営課題を持ち寄るが、今回は、グループ長という共通の課題に、グループ全体で取り組めた、というのがグループでのまとめとなりました。

●グループ長学習会は有意義な会でした。この学びを支部に持って帰って生かします。

●初めてグループ長をさせていただきました。時間もゆっくりとれ、失敗してもOKだったので、とても楽しかったです。

●フォーラムに向けてのグループ長学習会でしたが、参加人数をもっと増やして実施できたら、もっと良かったと思います。しかしながら、実際学びも多くありましたので、楽しいグループ討論でした！

全研岡山副実行委員長挨拶

同友会の実践、役得とはなにか？



全研岡山・副実行委員長
木本 康大 氏
（㈱ファーストディレクションTAKEKICHI）

この度、全研岡山の副実行委員長を拝命いたしました。私はここ最近様々なお役をいただくことが多いです。他の会員さんから「そんなに役を受けて大丈夫？」とよく心配をされます。確かに自社を経営しながら同友会運動を行うことは大変かもしれません。しかし、私は自社をもっと発展させたいという思いで、同友会で学んでいます。創業当初、自社を空けることなどできず、ひたすら現場作業をしていた時期もありました。そこから現場を少しずつ離れ、経営者にシフトするまでには、同友会で役を受ける度に専務や幹部たちと相談し、社外に出られる体制を少しずつ作ってきた過程がありました。

今回は、中小企業問題を考える全国の交流会での副実行委員長という役割です。盛会に向けて誰よりも多く、そして全体を見る立場で中小企業問題のことや全国レベルの大会運営を考えています。だからこそ学びが深まり、自身の経営判断や組織づくりに紐づいていくものだと思います。それがまさに役得であり、その学びを自社で実践することで「外部環境変化の激しい時代だから」と言い訳などせず、柔軟であり、発展し続けられる組織づくりができるのではないでしょうか。

第57回
中小企業問題全国研究集会 in 岡山
今を問い、未来をつくる
◆日 時：2027年 2月18日(木) 13:00～
19日(金) 12:00
◆会 場：ホテルグランヴィア岡山
(全体会、懇親会、分科会)／
岡山コンベンションセンター(分科会)
◆会 費：懇親会あり30,000円、懇親会なし19,000円
※中小企業家同友会全国協議会主催の全国行事は、「消費税法基本通達5-5-7」に基づく「共同行事」です。収益を目的とせず、かかる経費について参加会員に均等に特別会費としてご負担いただいています。会費は課税仕入れにはしないようお願いいたします。

同友会研修会（兼・二〇二六年度第一回役員研修会）

どんな情勢でも伸びていける企業づくり・同友会づくり



九月三十日、岡山国際交流センターを会場に「同友会研修会（兼・二〇二六年度第一回役員研修会）」を開催し、約二十人（事務局含む）が参加しました。今回は兵庫同友会の藤岡義己会長理事（㈱イーエスプランニング代表取締役）を招き、「どんな情勢でも伸びていける企業づくり・同友会づくり」と題してご報告いただきました。

藤岡氏は冒頭、阪神・淡路大震災で会員企業の約六割が被災し、トップ役員の会社も倒産に追い込まれた経験に触れ、「役員の会社が潰れるようでは同友会は発展できない。経営を本気で学ぶ場として同友会を再構築しよう」との強い危機感から企業づくりを中心軸に据えてきた兵庫同友会の歴史を紹介しました。そして「自社の企業づくりと同友会づくりは不離一体。役員が同友会で学び、実践したことすべてが自社経営に生きる」と強調。「各社の成長段階に応じて、①赤字企業は黒字企業へ、②弱い会社は普通の会社へ、③普通の会社は強い会社へ、④強い会社は良い会社へ、⑤そして最終的には『地域になくてはならない会社（同友会型ビジョナリーカンパニー）』を目指し、役員自らが同友会の『商品見本』にならなければならない」と訴えました。

特に組織の発展と人材育成について、「自社を成長させようと思ったら若手を定期的に採用し、部下を持たせて育てなければならない。同友会も全く同じ。新しい仲間を継続的に迎え入れられない同友会が成長・発展するわけがない」と力説。その意味で各社の経営実践と同友会の増強活動は重なり合うものであり、役員がその先頭に立って自社と同友会を伸ばしていく責任があると語りました。



藤岡 義己 氏

㈱イーエスプランニングの実践では、経営指針の成文化と全社的実践（ＴＱＭ手法を用いた方針展開や一泊研修等）を通じ、経営理念と日々の業務を結びつける仕組みを紹介。「経営者は社員に対する期待を示し、社員はそれに応える関係をつくることが人間尊重の経営の基本」と語りました。また岡山同友会に対し、来年の全研や法人化という絶好の機会を捉え、「全国行事の設営や全国の知見を活性化のために使い倒し、『岡山同友会の第二創業』を成し遂げてほしい」とエールを送りました。

グループ討論では、「あなたの会社は『ビジョナリーカンパニーへの道』のどの段階にありますか？　次の段階へ進むために何に取り組みますか？」「悩みや課題を語り合い、磨き合う同友会にするために、あなたは役員（会員）として何をしますか？」をテーマに活発な意見交換が行われました。

終わりに山辺啓二代表理事より「今日の学びを機に、役員が先頭に立って仲間づくりと自社経営の実践に挑戦してまいりましょう」と挨拶があり、閉会しました。（Ｙ）

アンケートより抜粋

●「組織は戦略に従い、戦略は組織に従う」という命題を、組織の状況や段階によって使い分ける具体的な事例がお聞きできたことが非常に大きかった。支部という組織のあり方と役の割り振りが大きな問題になっていたので早速支部活動に生かしていこうと思う。また、「ビジョナリーカンパニーへの道」の図解が分かりやすく、自社が今どの段階で次にどこを目指すべきなのかを考えられるイメージができた。岡山では「よい会社」を語ることは多くとも、その下地となる「普通の会社・強い会社」を考える機会が少ないため、会社と同友会の乖離が生じうるのだと再認識することができた。「自社で働く社員が幸せになれるか？」を同友会に置き換えれば、「会員は岡山同友会で学ぶことでよい会社になれるか？」。今後の支部活動や小ブロック（地区）単位での活動の糧にしていきたい。

●「組織は戦略に従う」という言葉が印象に残りました。目標数値だけでは戦略とは言えず、その目標をどのような手段・方策で達成するのかを明確にするのが本来の戦略であり、そこに共感が集まることで自然と目標に近づく。兵庫同友会は「黒字化」「数字に厳しい」との印象があったが、その背景には阪神・淡路大震災があり、先人たちの二度と同じことを繰り返さないという思いが今につながっていると感じた。また、同友会は異業種の集まりであり、他流試合ができるという指摘も新鮮だった。決算書を共有し、社内の様々な取り組みをパクリ合うなど、お互いが切磋琢磨する風土が岡山では不足していると感じた。遠慮して踏み込みすぎないよう距離を保とうとする風潮があり、何が何でも目標を達成しようという執着心の薄さを感じている。

企業変革の第一歩は現状の認識から

中小企業家同友会『企業変革支援プログラム』の自己診断シート（簡易版）

チェック

Ⅰ 経営者の責任

- ①自己変革を自らの責任として認識し、常に能力の向上に努めていますか。
- ②経営理念のもとに企業活動が営まれていますか。
- ③社員の意見や感情を受け止めていますか。
- ④社員と共に10年ビジョンを策定・共有していますか。

Ⅱ 経営理念を実践する過程

- ①財務諸表等の数値を把握し、社内で共有していますか。
- ②「自社の強み・弱み」「外部環境の機会・脅威」を分析していますか。
- ③経営方針を策定していますか。
- ④経営計画や部門計画を策定していますか。
- ⑤経営指針を社内で共有し、実践状態を定期的に検証・修正していますか。

Ⅲ 人を生かす経営の実践

- ①安心して快適に働き続けられる労働環境づくりに取り組んでいますか。
- ②社員との間でコミュニケーションを深め信頼関係を築いていますか。
- ③人材の採用・育成・配置・評価までを継続的に行う仕組みはありますか。
- ④共に学び、共に育ち合う文化をつくる仕組みがありますか。
- ⑤社員が自主性を発揮できる仕組みはありますか。

Ⅳ 市場・顧客及び自社の理解と対応

- ①市場・顧客の変化やニーズを正しく把握していますか。
- ②自社の製品・サービスに対する顧客の満足度を把握していますか。
- ③顧客の苦情や要望を関係強化につなげる仕組みはありますか。
- ④自社の製品・サービスと市場の適合状況を分析し、効果的な方針・計画を立てていますか。

Ⅴ 付加価値を高める

- ①現場や市場・顧客の声を、製品・サービスに反映する仕組みはありますか。
- ②品質の高い製品・サービスを安定的に生産・供給する仕組みはありますか。
- ③間接部門の業務プロセスを標準化し、改善を図っていますか。
- ④付加価値を高めるための取引先との関係強化を図っていますか。

Ⅵ 企業の社会的責任

- ①企業倫理を確立し、社会や地域に対して責任ある経営を行っていますか。
- ②いかなる非常時に際しても中核事業を継続する体制を構築していますか。
- ③地域の課題を自社の課題と捉え、その解決に取り組んでいますか。
- ④他の企業や団体と積極的に連携していますか。

←次ページに対応する主な同友会メニューを紹介しています。

11月・12月は企業変革支援プログラム登録強化・普及月間

『企業変革支援プログラムVer.2』の特徴

① 評価項目の「総合性」

今日的な課題である「働く環境づくり」やSDGsなどの社会的責任に関する項目も盛り込まれ、中小企業を取り巻く様々な経営課題を網羅しています。

② 診断から取り組み項目検討への「連続性」

自己診断で課題を抽出した後、課題を克服するために必要な変革内容を明確にできます。課題解決のヒントとなる様々な具体例が満載です。

③ 評価点を選んだ理由の「明瞭性」

評価の根拠となる実践例や考えられる取り組み例が記載されており、これを判断基準にすることで評価の背景を考えることができます。1年後でも、評価点を選んだ根拠が明確なため振り返りができます。

お求めは岡山同友会事務局まで　086-222-7473

info@okayama.doyu.jp

Support Program for Corporate Innovation

企業変革支援プログラムVer.2

企業変革支援プログラムを活用し、経営者と企業の成長を確かめよう

経営労働委員長　松本 直也 氏
（㈱アルマ経営研究所　代表取締役）



企業変革支援プログラムは、自社の経営を自己診断（セルフアセスメント）するためのプログラムです。その特徴は、経営者が自らの能力や役割、責任、成果、社会貢献などを振り返り、それらが組織の行動や成果にどの程度結びついているかを、成熟度の観点から確認できることにあります。自社の経営のあり方を客観的に見つめ直すことは、経営者の重要な責務といえるでしょう。

経営者自身や自社は、この一年でどれだけ成長したでしょうか。もちろん、成長しているはずです。しかし、大切なのは、何が、どのように、どの程度成長したのかを確認することです。

例えば、経営者自身の成長を確認するために、プログラムの「Ⅰ 経営者の責任」をチェックしてみてください。「意識して実行できたこと」もあれば、「できていると思っていたが、まだ不十分だったこと」も見つかるでしょう。こうした振り返りが、新たな気づきや改善につながります。また、経営者一人ではなく、役員や管理職、場合によっては社員も巻き込むことで、自分では気づかなかった課題が明らかになるかもしれません。

企業変革支援プログラムは、毎年活用することに意義があります。それは、経営者自身も自社も、毎年成長していく存在だからです。成長しているからこそ、同じ項目で振り返っても、その意味や重要性についての理解は深まっているはずです。毎年診断することは、こうした自らの変化を実感し、成長を確かめ、次の成長につなげる機会でもあります。その積み重ねは、経営者としての喜びにもなるのではないでしょうか。

企業変革支援プログラム　実践企業事例①

アルソアフェリーク　代表 山本 美知代 氏（倉敷支部）



私は個人事業主で組織販売ということもあり、当初は同友会に参加する意義をあまり感じられていませんでした。そんな中、例会で報告する機会をいただきました。当日までに様々な経営者から意見をいただく中で、自分では気づいていなかったことに気づかされ、視野が少しずつ広がっていきました。そして、自分がこれからやるべきことも、少しずつ明確になっていきました。

プログラムに取り組んだことで、単に数字を登録しただけではなく、「自社は何をしているのか」「何を目指しているのか」を、自分自身に問い直すことができました。

取り組む前は、プログラムそのものが何なのかもよく分かっていませんでした。しかし、実際に自社の数字を登録し、同友会の仲間から意見をいただく中で、自分では見えていなかったものが見えるようになりました。そして、気づいたことを一つずつ実行していくことが、今の自分にとって事業を続けていく力になっています。

これからも、数字に振り回されるのではなく、一つの判断材料として活用しながら、「仲間と共に楽しく羽ばたく」という自分の目指す姿に向かって、一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。

企業変革支援プログラム　実践企業事例②

㈱楓　代表取締役　井上 富男 氏（備北支部）



弊社は、経営指針書を作成した2017年から企業変革支援プログラムへの登録を始めました。当初の「STEP 1」では49点から、年々上がって22年には69点になっていましたが、「Ver.2」になった23年は47.2点に下がり、取り組めていないところが項目ごとに明確になり、わかりやすくなりました。

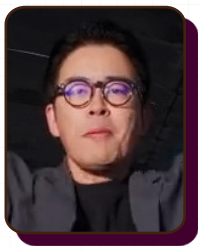
弊社では、まず企業変革支援プログラムで会社の課題を見つけ、緊急性と重要性の総合点数を経営指針の重点課題とし、その後、「働く環境分析シート」や「社員満足度調査」「外部環境分析」「事業分析」「売上分析」等を行い中期・短期経営計画を作成し、会社と個人のアクションプランにつなげ実践しています。

社員満足度調査や健康経営など社員アンケートも行っていますが、最終的には、企業変革支援プログラムと同じ課題になっていることがわかり、プログラムが的確に示していることにあらためて気づかされています。

昨今、飲食業界を取り巻く環境は大変厳しい状態ですが、課題を少しずつ改善し、お客様に喜んでいただける信頼されるお店づくりに、社員とともに取り組んでまいります。

企業変革支援プログラム　実践企業事例③

㈱カートップ　取締役副社長 岡﨑 有功 氏（岡山南支部）



2023年に倉敷支部で行われた『企業変革支援プログラムVer.2』の勉強会に参加し、取り組むようになりました。

当時、取締役部長として、育成計画、事業計画、採用活動、給料ベースアップ、社長の年齢を考えて承継のことや、面談、メンバーの一体感、ビジョン共有、新商品の考案、ブランディング等、全てが必要で、早く進めなければと、焦りと不安で頭の中がぐちゃぐちゃでした。

プログラムは、経営者の取り組む項目がテーマに分けられており、自社の現状を採点し、評価が悪いところを、優先順位をつけて計画を立てます。この時、重要性と緊急度が高かった2つ、10年ビジョンの策定、事業存続への取り組みに絞り、手を付けました。幹部でビジョンは作成したものの、社員にどう共有するかが課題で、会社のビジョンを自分事として考えるために、練習として社員に新規事業を考えてもらう取り組みを始めました。これが1年半前にスタートしたトラック買い取りにつながっています。

事業存続への取り組みでは、「次の社長は岡﨑だろう」という雰囲気だけでしたが、幹部会の中で、はっきり私が次に会社を継ぐという認識がそろい、社員の理解が得られるように役職も変更しました。この2つの取り組みによって不安が解消され、次にすべきことが計画的に考えられるようになりました。今年の年末までに課題を整理し、次年度の年間計画に落とすことで継続的に実施していきたいと思います。

※前ページの自己診断シートチェックに対応しています。

対応する主な同友会メニュー

- ●支部例会
- ●経営指針成文化研修会
- ●同友会研修会（役員研修会）
- ●『人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解』

- ●支部例会
- ●マネジメント研修会
- ●専門委員会の学習会
- ●『経営指針成文化と実践の手引き』
- ●『企業変革支援プログラム』

- ●支部例会
- ●経営指針成文化研修会
- ●社員共育大学
- ●求人サイト『Jobway』、合同企業説明会
- ●『働く環境づくりの手引き』、『共に育つ』

- ●支部例会
- ●経営指針成文化研修会
- ●専門委員会の学習会
- ●岡山同友会景況調査
- ●全国同友会景況調査報告（DOR）

- ●支部例会
- ●経営指針成文化研修会
- ●マネジメント研修会
- ●全国会報紙『中小企業家しんぶん』
- ●『企業変革支援プログラム』

- ●支部例会
- ●経営指針成文化研修会
- ●専門委員会の学習会
- ●仲間づくり活動
- ●全国行事

変革支援プログラム
登録はこちらから！
登録は、e.doyuのメニューバーから「企業変革支援プログラム」を選択！

第6回理事会報告

2026年10月28日@オンライン

松本直也副代表理事が議長に就任し、議案を審議した。

○入退会の審議

仲間づくり委員会より提案。4人の入会について審議を行い、異議なく承認となった。当月承認後の会員数は548人（純増+3人、期首対比+11人）。あわせて、翌月以降退会予定の4人（岡山北2人、東備2人）の申出状況報告、および他支部への紹介実績を集計したマトリクスの共有が行われた。

○実践を図る指標の支部別一覧表の確認

資料を回覧。9月のe.doyuアクセス率44.6%（243人）、経営指針書提出数（18社）、社員共育大学参加社数（19社）、マネジメント研修会参加社数（11社）、『変革支援プログラムVer.2』年度登録（34社）等の進捗を確認した。各支部における例会参加率の向上、成文化研修会の受講推進、11～12月の企業変革支援プログラム登録強化・普及月間に向けた取り組み、および全研（2027年2月）に向けた参加呼びかけを要請した。

○会勢の維持発展について（グループ討論）

山辺啓三代表理事と門田悦子代表理事より問題提起。今年度活動方針「人を生かす経営こそ未来をつくる～今やらねばいつできる」に基づき、会勢目標（650人）に対する実績と課題、仲間づくり・退会防止・例会参加・e.doyu活用の実践状況等の振り返りを実施した。グループ討論と各支部長によるグループ発表を通じ、例会の質の向上と学びの魅力発信、一部の役員に依存するのではなく一人ひとりの会員が1人ずつ誘う組織風土づくり、オブザーバーや休眠会員を対象とする丁寧な企業訪問とフォローの徹底、自社の経営環境を自ら改善し地域と共に発展するという目的意識の共有等について意見を交換した。

○第57回全国研究集会（全研）の準備の進捗報告

浅野浩一実行委員長より報告。前日の中同協幹事会で承認された動員目標（全国1,003人、うち岡山180人）を確認。全11分科会の表題と報告者、室長・副室長の選任状況、告知用短尺モーショングラフィックスのSNS活用、リーフレット作成の進捗（11月中旬完成予定）、物産展（4階フロア展開）の準備状況等を報告した。あわせて第4回グループ長学習会（12月9日）への積極的な参加を呼びかけた。

○2027新春経営講演会の概要

担当事務局より報告。◆日時：2027年1月20日（水）18：30開会 ◆会場：岡山国際交流センター（ハイブリッド開催）◆報告者：㈱世起・代表取締役・今村暢秀氏（愛媛同友会代表理事）。担当正副代表理事（山辺代表・大西副代表）を中心に準備を進める。行政・金融機関等に対する後援申請と回答状況（8割回答済み）および今後のスケジュールを確認した。

○一般社団法人化プロジェクトの進捗報告

法人化プロジェクトチームより報告。10月20日に開催された第3回会議における検討内容について説明。近日中に定款の「第1次草案（叩き台）」を作成し、理事会での審議・承認を経て、各支部役員会および会員説明会（12月頃予定）を実施する方針を共有した。

○その他報告事項

◆活動報告および月次試算表を回覧 ◆Instagram公式アカウントを取得し、限定的なテスト運用を実施中（Meta広告を通じて既に一部がInstagramにも自動配信されているため）◆会員の県外報告予定を報告。

新会員紹介

倉敷支部

㈱カスケホーム
代表取締役 倉森（くらもり） 仁司（ひとし）

〒713-8122
倉敷市玉島中央町1-22-30
TEL086-526-1313
住宅リフォーム・リノベーション、新築注文住宅の設計施工、および不動産売買仲介業

倉敷支部

㈲コラソン
代表取締役 小野（おの） 康久（やすひさ）

〒701-0111
倉敷市上東516-7
TEL086-462-8300
フレンチレストラン「ポン・ヌフ」の運営および、ウエディング（結婚式場・ブライダル）事業

岡山北支部

soLvis（そるうぃす）
代表 田中（たなか） 優（ゆう）

〒701-0152
岡山市北区延友328-17
TEL080-6973-5862
女性専用の完全予約制プライベートサロンで、筋膜リリース（ファシアドレナージュ）、小顔整体、ヘッドスパなどを提供しています。

倉敷支部

㈱藤原製作所（ふじわらせいさくしょ）
代表取締役 副社長 藤原（ふじわら） 政子（まさこ）

〒715-0023
井原市大江町3683-1
TEL0866-67-0270
工作機械や半導体装置用「主軸（スピンドル）」の設計・製造を主軸に、その超精密加工技術を活かした各種部品や治工具の受託製作等も展開しています。

26年度方針の数値目標と実績

■各支部例会参加率（前月実績）

（所属支部の例会に参加した支部会員数/支部会員数）
※支部会員数は9月理事会承認の値

岡山北支部	-	(0/162)
岡山南支部	-	(0/147)
倉敷支部	22.8%	(29/127)
作州支部	33.3%	(7/21)
備北支部	-	(0/49)
東備支部	-	(0/39)

■e.doyuアクセス率（月平均値）

岡山北支部	33.2%
岡山南支部	35.3%
倉敷支部	42.1%
作州支部	46.9%
備北支部	34.8%
東備支部	51.1%
全体	**37.8%**

■企業変革支援プログラム登録者

（2026年10月末日の登録）

岡山北支部	2.5%	(4/162)
岡山南支部	2.0%	(3/147)
倉敷支部	18.9%	(24/127)
作州支部	9.5%	(2/21)
備北支部	2.0%	(1/49)
東備支部	0.0%	(0/39)
全体	**34人**	

■経営指針書の事務局提出数

（2026年10月末日の提出）

岡山北支部	1.9%	(3/162)
岡山南支部	3.4%	(5/147)
倉敷支部	5.5%	(7/127)
作州支部	0.0%	(0/21)
備北支部	6.1%	(3/49)
東備支部	0.0%	(0/39)
全体	**18社**	

■支部例会と全県行事のオブザーバー参加人数

岡山北支部	12
岡山南支部	21
倉敷支部	8
作州支部	22
備北支部	0
東備支部	13
全体	**76人**

■岡山同友会の主要な学習プログラム受講社数

岡山北支部	7
岡山南支部	14
倉敷支部	7
作州支部	2
備北支部	3
東備支部	3
今年度合計	**36社**

（25年度受講社数42社）

会員情報の変更

（2026年10月末時点）

■㈱ズームコーポレーション 小野隼氏の役職を代表取締役へ変更
■社会医療法人 岡村一心堂病院の組織名を社会医療法人社団十全会 岡村一心堂病院へ、岡村暢大氏の役職を院長へ変更（所在地、TEL、FAXに変更なし）
■田中実業㈱田中康信氏の役職を代表取締役会長へ変更
■田中実業㈱薮木健之氏の役職を取締役社長へ変更
■㈱吉備高原サツキ育英会 芝村啓介氏の役職を取締役社長へ変更

現在の会員数 **548名** 2026年10月理事会承認分



あなたの知らない わが社のヒミツ

その10

毎回同友会企業にお邪魔して社員さんに直撃取材。
会員企業の秘密に迫ります。

ビジネスセンター岡山㈱
代表取締役社長　岡本　匡史氏(岡山北支部)2010年入会

所在地:岡山市北区島田本町1－5－37
ＴＥＬ:086-255-1115
ＵＲＬ:https://www.bco.co.jp/

事業内容　コンピュータ業務の総合受託

回答者:営業部係長 藤本 秀幸さん



左が藤本さん

その1. 自社の圧倒的な強み

米戸：他社との違いを生み出すために意識していることはありますか？

藤本：弊社では、いかに競争優位性を持つかということを大切にしています。お客様の顕在ニーズだけでなく、潜在的なニーズまでしっかりとお聞きした上で、「このお客様には何が必要なのか」を考えます。そのため、既存のパッケージをそのまま提供するというよりも、お客様に合わせてオリジナルで1から提案することが多くなります。ICT という技術だけではなく、お客様の話を聞き、相手を理解し、まだ形になっていない課題まで一緒に考える。そのための「人間力」があってこそ、ICTを生かすことができると考えています。

その2．人間力×ICT で地域とお客様の課題を解決する

米戸：「人間力×ICT」という考え方について教えてください。

藤本：お客様からいただくご要望の中には、これまで一度もしたことがないものもあります。ただ、そうしたご相談をいただいたときに、できないと思ったことは一度もありません。どうしたら解決できるかを考えます。考えているうちに、途中から自分自身が楽しんでいることもあります。したことがないことでも知恵を絞り、できる限りの方法を考えて、お客様に提案しています。そのために営業担当者に求められるのが、お客様の要望を聞き出す力です。表面に現れている「顕在ニーズ」だけを聞くのでは十分ではありません。お客様のことを本気で考えて、様々なことをお聞きすると、その奥にある「潜在ニーズ」が少しずつ出てきます。「本当は何に困っているのか」「その先で何を実現したいのか」。そこまで理解することができれば、私たちから提案できることも変わってきます。





その3. 自社から他社へつなぐ

米戸：お客様と接するときに大切にしていることを教えてください。

藤本：一番大切にしているのは、お客様を尊重することです。お客様からご相談いただいたことに対して、必ずしもすべてを自社のサービスで解決しようとは考えていません。弊社では対応できないことは、他社にお願いした方がお客様にとって良いこともあります。そのような場合には、他社におつなぎします。大切なのは、最終的にお客様に満足していただけるかどうかです。お客様にとって何が一番良いのかを考えながら、日々接することを心掛けています。

その 4. 地域貢献に熱い！

米戸：お客様や他社を「つなぐ」というその姿勢は、地域社会との関わりにも通じるものがありますね。地域との関わりで大切にされていることについて、岡本さんはいかがでしょうか？

岡本：私たちは IT の会社ですが、IT を通じてさまざまな人や地域とつながることができると考えています。その一つが、私の地元にある高校との取り組みです。高校生と連携し、ごみ拾いやスタンプラリーのアプリを開発しました。また、地元の店舗約 20 軒に声を掛け、高校生が地域の方々と交流できる機会をつくっています。こうした取り組みは、単にアプリをつくることが目的ではなく、IT をきっかけに地域のつながりをつくっていきたいという思いがあります。例えば、生徒さんたちに万が一何かあったとき、地域のお店に駆け込むことができれば安心です。困ったときにお店に助けを求めることができる。そんな関係を日頃から地域の中につくっておくことも大切だと考えています。地域の方々と高校生、お店、企業などがつながるきっかけをつくることも、私たちにできる地域貢献の一つだと思っています。

取材後記

岡本社長は倉敷市真備町の出身で、西日本豪雨災害で被災した一人です。そのため、地域貢献に対する思いが大変強く、幅広く活動しています。また、IT化が急速に進む社会の中でも「人間力」を活かし、お客様を尊重した温かいサービスを提供されていることが伝わりました。

聞き手　Kitobito　米戸 雅之
執　筆　ikigailabo　小原 裕美

広報委員会

発行人／山辺 啓三・門田 悦子
編集人／藤井 智晴
© 1988-2026 岡山県中小企業家同友会
〒700-0936 岡山市北区富田 29
☎(086)222-7473　FAX(086)225-3662
E-mail：info@okayama.doyu.jp

https://okayama.doyu.jp
←ホームページ
Facebook →

岡山県中小企業家同友会

各種ご案内

同友会の各種行事・セミナー・活動のご案内を
ご覧ください。

よい会社をつくろう　よい経営者になろう　良い経営環境をつくろう

岡山県中小企業家同友会　2027新春経営講演会

予定稿

誰も迷子にさせない会社づくり

日時　2027年 **1月20日** 水 18:30～20:30

会場　**岡山国際交流センター　2階　国際会議場**
岡山市北区奉還町2-2-1　☎086-256-2905

LIVE配信　**オンライン(ZOOM)でも ご参加いただけます**

会費　**4,000円**　［会員企業社員 金融機関・行政 **2,000円**］
※後日、請求書をお送りします（現地清算はありません）。
※講演会終了後、別会場にて懇親会を行います。
（先着60名、会費5,500円予定）

申込締切　**2027年　1月15日(金) 正午**
※締切経過後のキャンセルは会費をご負担いただきます。

スケジュール(予定)
- 18:00～　開場
- 18:30～　開会
- 18:50～　講演
- 20:50～　懇親会



株式会社 世起
代表取締役　**今村 暢秀 氏**
（愛媛県中小企業家同友会　代表理事）

■企業情報
創　業／1970年　　社員数／54名
資本金／1,000万円　　年　商／6億円
事業内容／和洋菓子製造業（もち、げんこつ飴等）

■講演概要（仮）

お問い合せ先
岡山県中小企業家同友会
岡山市北区富田29
TEL 086-222-7473　info@okayama.doyu.jp

お申し込みはこちら
会員の方はe.doyuから お申し込みください

会員以外の経営者・取締役以上の幹部、金融機関、行政、支援団体の皆様もご参加いただけます(会員企業以外の一般社員のご参加はご遠慮願います)。
※お申込み後の参加形態の変更、キャンセルはメール・電話等でご連絡ください。

オンライン参加にあたっての注意事項
- チャットなど双方向のコミュニケーションはありません(カメラ・マイク機能は使用しません)。
- ZOOMのマイクはOFFにしてご視聴ください。
- 前日までにミーティングURL等をメールでお送りします(会員企業の社員がオンラインで参加する場合は、経営者が参加社員に情報を伝えてください)。
- ミーティングURLやパスワード等の情報を申込者以外の方に伝えることは禁止します。
- 申込者以外の第三者が、画面の閲覧ないし音声の聴取ができる環境下での視聴はご遠慮ください。
- 配信映像・音声の録音・録画・撮影などは禁止します。
- ZOOMの接続方法や操作等の技術的なサポートには対応しておりません。講演会当日は電話等のご連絡やお問合せにも対応することができませんので、事前に社内でテスト等を実施することをお勧めします。
- 運営には万全を尽くしますが、参加者の通信環境や回線状況次第では再ログインが必要になることや、画面がフリーズするなどでご視聴いただけない場合もあり得ます。その場合は、後日、期間を限定して録画等の配信を行う予定です。
- ブラウザではなくZOOMアプリケーションを使用する場合、最新の状態にアップデートしてご利用ください。

後援
＜順不同＞
申請中

第57回
中小企業問題
全国研究集会

第57回 中小企業問題
全国研究集会

今を問い、未来をつくる



in

OKAYAMA

2027/2/18(木)-19(金)

13時開会　　**12時閉会**

会場：ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター

タイムスケジュール（予定）

2月18日（1日目）		2月19日（2日目）	
13:00	分科会開会	9:00	全体会開会
17:30	分科会閉会	12:00	全体会閉会
18:30	懇親会開会		
20:00	懇親会閉会		

会費（※交通費・宿泊費別）
懇親会参加：30,000円
懇親会なし：19,000円
※会費について、消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため課税仕入れにはしないようにお願いします。

主催：中小企業家同友会全国協議会　　**設営：岡山県中小企業家同友会**

第57回 中小企業問題全国研究集会

岡山県中小企業家同友会
第57回全研in岡山 開催企画

第4回 グループ長学習会

～自社の経営課題を見つめ直し、議論を深める～

日時 12月9日(水) 18:00～20:45

会場 岡山国際交流センター
7階多目的ホール
(岡山市北区奉還町2-2-1 ☎086-256-2905)

会費 無料　**締切** 12/8 正午

議論の進行を担うグループ長には、経営者に必須の能力とも言える「引き出す力」「伝える力」「まとめる力」が求められます。 立場も考え方も異なるメンバーから発言を引き出し、様々な意見の中から本質をつかみ、全員が納得できる結論へ導く。そのスキルは、日々の会議や交渉、そして経営そのものに直結する力です。

シリーズ最終回となる今回は、本番の分科会に近い形式で行う仕上げの研修です。
全研第9分科会 報告者の田中実業(株)の田中康信氏に報告をいただき、本番の予行演習を兼ねたグループ討論を行います。
全研で議論される「中小企業問題」を自社の経営に引き寄せて考える絶好の機会です。

来年2月の全国研究集会では、岡山のグループ長の進行に全国の会員の目が注がれます。自身の成長と全研の成功のために、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

問題提起

「地域を支える企業の役割と責任」

田中実業(株) 代表取締役会長

田中 康信 氏

(全研in岡山 第9分科会 報告者)

アドバイザー (予定)
新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科
講師 長宗 武司氏

● タイムスケジュール(予定)

18:00	開会＆趣旨説明
18:15	報告・問題提起
19:05	アドバイザー補足説明
19:20	グループ討論
20:20	討論振返り・グループ発表
20:35	全体の振り返り
20:45	閉会
21:00	有志懇親会

お申込み・お問い合わせ

岡山県中小企業家同友会 事務局
☎ 086-222-7473
✉ info@okayama.doyu.jp

申込みフォームはこちら

申込みは【e.doyu】もしくは【申込みフォーム】からご登録ください。
※申込みフォームから登録した方には、受け取り確認のシステムメールが送付されます。

★本申込内容は、岡山県中小企業家同友会の管理のもとに、参加者名簿・今後のご案内等に活用させていただきます。

岡山の中小企業の **学び・交流・成長** をサポート！

岡山県中小企業家同友会の

Facebook

ページをフォローして、行事案内をチェックしよう！



中小企業の**チカラ**が岡山の未来をつくります！

ともに学び、
力を合わせて、
未来を切り拓こう！

岡山県中小企業家同友会のFacebookページでは、
同友会の行事やイベントのご案内をお届けします。
ぜひフォローして、最新の行事案内をチェックしてください！

＼ 今すぐアクセス！ ／

岡山県中小企業家同友会
公式Facebookページ

QRコードを読み取って
フォローをお願いします！

いいね！・シェアも大歓迎です！

こんな情報を発信しています！

同友会の活動・行事案内

例会・セミナー・経営研究会・
イベントなどの開催情報を
いち早くお知らせします。



例会・セミナー



経営研究会



会員交流会・懇親会

＼ 学びと交流の場に、ぜひご参加ください！ ／

同友会で広がる、あなたの可能性！

学び合い
経営者同士で学び、経営力を高め合える場があります。

人脈づくり
業種・規模を超えたつながりが、ビジネスの可能性を広げます。

地域貢献
地域経済の発展と、豊かな地域づくりに貢献します。

共に成長
互いに支え合い、共に成長できる仲間がここにいます。



岡山県中小企業家同友会
〒700-0936 岡山市北区富田29
TEL.086-222-7473　FAX.086-225-3662
https://okayama.doyu.jp/

Facebookページをフォローして、
最新の行事案内をチェックしよう！

いいね！　シェア　フォロー

スマホから
カンタンアクセス！

第57回 中小企業問題全国研究集会

東備支部＆作州支部合同11月例会

数字が語る、あなたの会社の「今」と「これから」

―財務諸表から経営ビジョンと課題を見つけ出す―



2026年11月17日 火

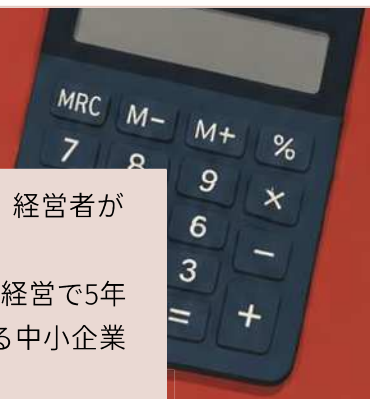
18:30～21：00

学び館サエスタ

和気郡和気町父井原430-1　TEL 0869-88-9110

11/16(月)正午申込締切

講師　株式会社アルマ経営研究所
代表取締役
松本 直也 氏
(岡山同友会副代表理事)



参加会費
500円
オブザーバーは無料ご招待

安定した財務基盤は、社員とその家族の暮らしを守り、経営者が自信を持って次の一手を打つための大切な土台です。
「売上は伸びているのに利益が残らない」「このままの経営で5年後、10年後も大丈夫なのか」――こうした悩みを抱える中小企業も少なくありません。
本例会では、過去の経営数値から自社の現状を把握し、数字の変化の背景にある経営の特徴や強み・弱み、解決すべき課題を明らかにします。そして、その課題を中長期ビジョンに反映し、具体的な経営方針や行動につなげていく方法を学びます。
「数字を分析して終わり」ではなく、数字から未来を描き、実践する。その積み重ねによって、持続的に成長できる安定した財務基盤をどう構築していくのかを、ともに考えます。

お問い合わせ先
岡山県中小企業家同友会
岡山市北区富田29
TEL　086-222-7473
メール　info@okayama.doyu.jp

お申し込みはこちらから

★オブザーバーとしてご参加いただけるのは中小企業経営者、事業後継者、取締役以上の幹部社員の方、行政・経営支援機関・金融機関の職員の方です。会員企業の社員の方も役職に関わらずご参加いただくことが可能です。
★本申込内容は、岡山県中小企業家同友会の管理のもとに、参加者名簿・今後のご案内等に活用させていただきます。

岡山同友会 倉敷支部 11月例会

本気で経営者になってみようか

～描いたビジョンに対する責任と
自己変革に向き合う～

ビジョンは描いた。
なのに、なぜ動けないのか。
経営者としての責任も、
会社の今と未来も、
きれいごとでは語れない。
「本気の経営者」の姿を
本音で語り合いましょう。

報告者
（同）koto architecture lab
代表 佐藤 悠馬氏
（倉敷支部役員・青年部長）

日時 11月18日（水）
18:30～21:00

会場 ホテルセントイン倉敷
（倉敷市新倉敷駅前5-203）
＋ZOOM
ハイブリッド開催

参加会費 1,000円（有志懇親会アリ／現金のみ・約5,000円前後）

お問い合せ
お申し込み

ご質問やお問合せは岡山県中小企業家同友会までご連絡ください。
（☎086-222-7473　E-mail：info@okayama.doyu.jp）

申込みは[e.doyu]もしくは[申込みフォーム]からご登録ください。
※申込みフォームから登録した方には、受け取り確認のシステムメールが送付されます。

申込みはこちらから

★本オブザーバーとしてご参加いただけるのは中小企業経営者、事業後継者、取締役以上の幹部社員の方、行政・経営支援機関・金融機関の職員の方です。会員企業の社員の方も視聴に関りご参加いただくことが可能です。
★県内及内諸は、岡山県中小企業家同友会の管理のもとに、参加者名簿・今後のご案内等に活用させていただきます。

岡山北支部 11月例会

変化を共有し、未来を考える

― 外部環境を共有する仕組みづくり ―



大きく変化する社会情勢、AIの進化。
経営を取り巻く環境は、急速に変わり続けています。
(株)イケルが得意分野とするデザイン制作の仕事も、
まさにAIに飲み込まれようとしています。
毎年、社員とともに経営指針書をつくり直し、全社一丸経営を
進める山下氏は「外部環境を共有する仕組みがある。
だからこそ、しなやかに変化を受け入れながらも、
大切な座標軸を見失わずに経営ができている」と強調します。
外部環境をどう捉え、AIや人づくりにどう取り組むのか？
緊急ではないが、重要な課題にどう向き合うのか？
山下氏にうまくいかないことも含めてお話しいただきます。

報告者

(株)イケル　代表取締役
理事・岡山南支部役員・広報委員

山下 秀男 氏

岡山市北区平田170番113ウィンビル202

開催日 2026年 11/20 金 18:00～20:00

会場 岡山国際交流センター
岡山市北区奉還町 2-2-1　TEL 086-256-2905

会費 500円　オブザーバーは無料でご招待します

締切 2026年11月19日（木）正午

お申込みはこちら

岡山県中小企業家同友会
TEL 086-222-7473　E-mail info@okayama.doyu.jp

※県外の経営者の方で参加の申込みをいただいた方は、入会ご希望者として最寄りの同友会に連絡先等を紹介させていただきますのでご了承ください（既に入会されている方は除きます）。
※本申込内容は、岡山県中小企業家同友会の管理のもとに、参加者名簿・今後のご案内等に活用させていただきます。

岡山県中小企業家同友会　障害者問題委員会

2026年度　行事のご案内

「こども性暴力防止法」に関する学習会

会費：1000円
定員：30名

講師：（一社）こども性暴力防止ネットワーク　代表理事　戸田 大介氏
日時：9月9日18:00～20:00　　会場：岡山同友会 事務局会議室（岡山市北区富田29）

2026年12月に施行される「こども性暴力防止法（日本版DBS）」では、義務対象の事業者（学校や保育、塾、スポーツクラブなど）が適切な対応を行わなかった場合、行政処分や罰金だけでなく、事業者名の公表など、経営・信用を揺るがす事態に直結します。対応が必要な業種の方はもちろん、直接の対象とならない事業者でも保育・教育系のICT事業、システム（情報セキュリティ）関係の事業者や士業の方も影響が出ると見られています。対応の事前準備なども必要になります。リスクを防ぐための対応・対策を一緒に学びましょう！

同友会会員の就労支援事業所への施設見学

会費：無料
定員：10名

会員限定企画

日時：10月29日10:00～12:00
訪問施設：（一社）結い　就労継続支援B型事業所　ワークハウス・わくわく！
就労継続支援B型事業所　喜楽

今回は（一社）結いの早瀬所長にご協力をいただき、就労支援時事業所への見学ツアーを行わせていただきます。実際の作業の様子を見学した後、場所を移して事業説明や質疑応答などの時間を取ります。集合場所などの詳細が決まり次第、ご案内となります。定員に限りがありますのであらかじめご了承ください。※定員の関係で会員の方のみご参加いただけます。

メンタルヘルスに関する学習会①②

会費：1000円
定員：40名

講師：しえんメンタルヘルスLab.（株）　事業部長　西邑 翼 氏
日時：26年11月　9日18:00～20:00　　会場：岡山国際交流センター 5F 会議室1
日時：27年　3月12日18:00～20:00　　会場：岡山国際交流センター 5F 会議室1

昨今話題にもよく上がるメンタルヘルス。あなたの会社ではどのように対応していますか？
しえんメンタルヘルスLab.（株）西邑事業部長から講習をいただきます。単なるストレスチェックではなく、自社で活用できる学習会です。会員以外の経営者の方の参加も受付予定です。
詳細が決定しましたら同友会ホームページにてご案内いたします。

障害者特性・障害者雇用について知る学習会

会費：500円
定員：現地15名
オンライン無制限

講師：ｂｏｎ（株）代表取締役　横田 一馬 氏（就労移行支援事業所オカヤマエール）
日時：12月7日 18:00～20:00　　会場：岡山同友会会議室＋zoom

障害者雇用を始めたり、継続したりするとき、多くの経営上の課題や疑問点が浮かんできます。「どのような対応と仕組みを作れば良いのか」「どのような支援や助成金などがあるのか」「どこまでの相談をどこにしたら良いのか」などなど・・・。本学習会では、事例報告＆講習と質疑応答などを通して、そんな課題や疑問をクリアにしていきます。ぜひお気軽にご参加ください。

お申込み･お問い合わせ

ご質問やお問合せは岡山県中小企業家同友会までご連絡ください。
（☎086-222-7473　　E-mail：info@okayama.doyu.jp）

申込みは同友会ホームページの公開行事予定(右記QRコード リンク先)からお願いします。

★オブザーバーとしてご参加いただけるのは中小企業経営者、事業後継者、取締役以上の幹部社員の方、行政・経営支援機関・金融機関の職員の方です。会員企業の社員の方も役職に関わらずご参加いただくことが可能です。
★本申込内容は、岡山県中小企業家同友会の管理のもとに、参加者名簿・今後のご案内等に活用させていただきます。

第13期女子大学
経営者のための実践講座

なりたい私に近づく
全4回シリーズ講座



数字・営業・人がつながる
経営の地図をつくろう

立場をこえて
ともに学び、つながる
実践講座です。

集客・営業・数字、経営に必要だと
分かっていても、苦手意識を持っていませんか？
知識を学ぶだけでなく、ワークや交流を通して、
明日から実践できる力を身につける全4回のシリーズ講座です。

この講座で得られること

- 自社の強みが言葉で伝えられる！
- 「売り込まなくても選ばれる営業」が分かる！
- 数字が経営判断に役立つ武器になる！
- 自社の未来を描く経営計画が完成する！
- 同じ立場で頑張る仲間と出会える！

開催概要

全日程・完全リアル開催

時間：13:30～16:30

会場：ハッシュタグ岡山
岡山市北区北長瀬表町二丁目17番80号
TEL：086-236-7458
※北長瀬駅から徒歩3分

持ち物

筆記用具、
名刺、電卓など

参加会費（税込）

全4回通期　5,000円

1回参加　1,500円／回

後日、請求書をお送り致します。

修了要件

全4回中
3回以上の出席

定員 30名（先着順）

お申込みはお早めに！

スマホで簡単申込！

申込フォームから
お申込みください

締切：各回の3営業日前まで

※会員以外の経営者・後継者・取締役以上の幹部の方、創業予定の方もご参加いただけます。
（会員企業以外の一般社員の方のご参加はご遠慮願います）
県外の経営者の方で参加のお申込みをいただいた方は、入会ご希望者として最寄りの同友会に
連絡先等を紹介させていただきますのでご了承ください（既に入会されている方は除きます）。

主催：岡山県中小企業家同友会

共催：（公財）岡山県産業振興財団（岡山県よろず支援拠点：中国経済産業局委託事業）／岡山県信用保証協会

お問い合わせ：岡山県中小企業家同友会 事務局　岡山市北区富田29　TEL：086-222-7473　E-mail：info@okayama.doyu.jp

第13期女子大学
経営者のための実践講座
全4回シリーズ講座　講座スケジュール

第1回　10/22（木）
13:30～16:30

選ばれるための集客と認知づくり

自社の魅力を、誰に・どう届ける？
知ってもらい、興味を持ってもらうための
集客と認知づくりを実践的に学びます

岡山県よろず支援拠点コーディネーター
北川 知裕氏

第2回　11/26（木）
13:30～16:30

傾聴スキルとプレゼンテーションで営業力を磨く

「売り込む営業」ではなく「選ばれる営業」とは何か
信頼を生む傾聴コミュニケーション

小原 裕美氏（キャリアコンサルタント）
里見 允二氏（サトミ紙工（株））

第3回　2/25（木）
13:30～16:30

経営数値計画

数字を経営にどう活かしているか？
数字を味方につける考え方とポイント

岡山県信用保証協会
黒田 智典氏

第4回　3/25（木）
13:30～16:30

自社の未来を描く経営計画とは何か？

経営数値計画と地図を作成し、発表
明日から行動できる「経営の地図」を完成！

岡山県信用保証協会
黒田 智典氏

講座とは別開催　12/17（木）　交流会　時間・場所調整中

経営の悩みを気軽に話せる　仲間とつながる交流会
肩の力を抜いて、語り合いましょう



参加者の声（過去の学びの場より）


自分の強みを言語化でき、
自信を持って伝えるようになりました!


数字の見方が変わり、
経営判断が楽しくなりました!


同じ悩みを持つ仲間と出会えて、
一人じゃないと実感できました!

※個人の感想です

こんな方におすすめ!

- ☑ 経営者
- ☑ 後継者
- ☑ 取締役以上の幹部
- ☑ 個人事業主
- ☑ 経営をもっと学びたい方
- ☑ 一年以内に創業の方



※会員以外の方も、対象条件を満たす場合はご参加いただけます。
詳しい参加対象は表面をご確認ください。

開催概要・参加会費・お申込みは表面をご確認ください

主催：岡山県中小企業家同友会
共催：（公財）岡山県産業振興財団（岡山県よろず支援拠点：中国経済産業局委託事業）／岡山県信用保証協会
お問い合わせ：岡山県中小企業家同友会 事務局　岡山市北区富田29　TEL：086-222-7473　E-mail：info@okayama.doyu.jp

女性部
チーム緑×育×核
合同Cafe



悩みも学びも分かち合い、次の行動につなげる場
―― 食べて、話して、つながる。年末の交流会

開催概要

開催日時
2026年12月17日(木)
11:00～13:00

会場
イタリア食堂 Mamma
(マンマ)
住所：岡山県岡山市北区田中121-105

参加費
2,500円程度
申込締切後のキャンセルは
参加費全額を申し受ける場合があります。

定員
30人

ドレスコード
赤または緑のものを
1点身につける

この会で得られること

1 つながる
一人で悩みを抱える女性経営者が、気軽に悩みを話したり、共感を得たり、ヒントをもらったりできる場。

2 学びを活かす
学んだことや実践したことを共有し、「学んで終わり」にせず、行動・振り返り・次の行動へつなげる。

3 活動を知る
例会や女性部の活動を知るきっかけをつくり、活動への理解を深める。

内容

- ランチ（4～5人単位のグループ、席はくじ引きで決定）
- good & new（グループ）
- チーム緑：みんなにお悩み相談「何でも言ってもいい会」
- チーム育：次につながる実践とアウトプット
  「女子大学前期　学びの振り返り Time」
- チーム核：「1分間の見どころご紹介 Time」
- 1minutes PR Time（希望者のみ・事前申込制）
- お楽しみ企画（プレゼント交換、もしくはじゃんけん大会）

こんな方におすすめです

12月は、チーム緑・育・核の3チーム合同でCafeを開催します！
おいしいものを囲んで気軽に話し、悩みや経験を分かち合う。
そして、活動の中で得た学びや実践を共有し、明日からの行動につなげる。
さらに、女性部の例会や活動を知るきっかけもつくります。

「ちょっと話してみたい」　「誰かの話を聞いてみたい」

そんな気持ちで、気軽にご参加ください。

お申し込みはこちら

主催
岡山県中小企業家同友会
TEL：086-222-7473
MAIL：info@okayama.doyu.jp

食べて、話して、つながる。

―― 年末のひとときを、一緒に過ごしましょう！

Good People
Good Relationships
A Brighter Year

岡山県中小企業家同友会　青年部

クロジカプログラム



AIで己を知り、価格を定め、顧客を狙い撃つ！

「選ばれる理由」と「適正価格」の設計図づくり

自分を知る。
価値をつくる。
選ばれる未来へ。

なんとなくのSNS発信や相場頼みの価格設定は、もう終わり。
クロジカプログラムは、約5か月の実践プログラムです。AIを活用しながら
他社の異業種の経営者との対話を通して、「選ばれる理由」と「適正価格」を設計し、
顧客へのアプローチ方法を考え、実際に行動して、成果につなげていく全5回のプログラムです。

こんな方におすすめ

- 1〜10名程度の従業員を雇用している小規模事業者
- 価格に自信が持てず安くしがち
- SNS発信をしても手応えがない
- 自社の強みをうまく言葉にできない
- 日々の業務に追われ経営を考える時間がない
- ゲスト参加OK

プログラムの流れ（全5回）

0 事前課題
- 自社分析
- SWOT

1 第1回 自社を知る
- 強み
- 選ばれる理由
- 価値を感じている相手

2 第2回 利益が残る経営を考える
- 粗利・売上
- 価格設定の考え方

3 第2.5回 オンライン 売れる仕組みを考える
- どこで・どう届けるか
- やってみて数字で見る

4 第3回 実績報告会
- PDCA
- アクションプラン

クロジカプログラムの特徴

異業種の経営者と本音で話せる
同じ経営者の悩みや視点から、自社にはないヒントが見つかります。

自社の課題を持ち寄り、考え合う
一人で悩まず、仲間と一緒に知恵を出し合います。

持ち帰って、すぐ実践できる
ワークだけで終わらず、実際の行動と成果につなげます。

開催概要

第1回	11/27(金) 18:30〜
第2回	1/15(金) 18:30〜
第2.5回	2/26(金) 18:30〜 オンライン
第3回	3/26(金) 18:30〜

会場：merci CAFE & FASHION
（岡山市北区納所156-1）

※ 第2回以降の日程・場所は、第1回以降調整の可能性があります
※ 原則全日程にご参加ください
※ AIを使用するためPCをご準備ください

お申し込み

参加費	1,500円
申込締切	11/26(木) 正午
申込先	e-doyu

お問い合わせ　岡山県中小企業家同友会　青年部 ｜ 岡山県中小企業家同友会　086-222-7473　info@okayama.doyu.jp

企業変革支援プログラムVer.2

2026年11月~12月は

e.doyu登録
強化・普及月間

Ver.2の結果を e.doyuに登録するメリット

1 **自社の経年変化を グラフで確認できる！**

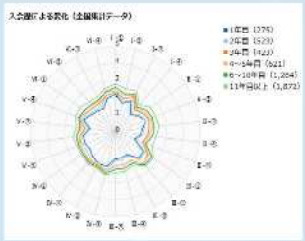
2 **全国の会員と比較できる！**
（業種別/従業員規模別/創業年別で比較可能！）

登録方法

① e.doyu「企業変革支援PG Ver.2」へ
②「自社データの登録」からデータ入力
③「2026年の回答として登録する」
または「下書き保存をする」を押す

ご注意
「下書き保存をする」を選択した場合や、全ての設問に回答していない場合にはグラフ化できません。「2026年の回答として登録する」を選択した場合のみ全国集計に反映されます。

グラフの一例（入会歴別）



常に変革が求められる時代。なりゆき任せの経営に喝！
企業変革支援プログラムVer.2は、「よい会社」づくりの強力なツールです。

- 自社の特徴や強みを定量的・定性的に捉えることができる！
- 目的と課題が明確になる！
- 自社を社内外に伝えやすい！
- 経営指針に基づいた経営実践を後押し

日常では見えなかった本質的な問題を課題化し解決するために、ぜひご活用ください。
また、社内で社員と共に取り組むと、認識の違いがたくさん見えてきます。
そこが経営課題かもしれません。本月間を毎年の自社点検の契機として活用して、企業変革につなげてゆきましょう。

中小企業家同友会全国協議会（中同協） —お問い合わせはご所属の同友会まで—
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル3階　電話：03-5829-9335　FAX：03-5829-9336



目　次

1 企業変革支援プログラムとは
（1）「人を生かす経営」の総合実践と企業変革支援プログラム
（2）経営指針の実践とは
（3）企業変革支援プログラムと同友会運動
（4）各カテゴリー・サブカテゴリーと「労使見解」等との整合性および相関関係

2 企業変革支援プログラムの活用
（1）企業変革支援プログラムの使い方
（2）企業プロフィールシートについて
（3）自己分析シートから成熟度を確認する
（4）熟成度の考え方
（5）変革項目優先順位シートの使い方
（6）変革検討シートの使い方
はじめて企業変革支援プログラムに取り組む方へ
＜エントリー自己診断＞
企業プロフィールシート
成熟度の基準と成熟度向上のために

3 自己分析シート
Ⅰ.経営者の責任
Ⅱ.経営理念を実践する過程
Ⅲ.人を生かす経営の実践
Ⅳ.市場・顧客及び自社の理解と対応状況
Ⅴ.付加価値を高める
Ⅵ.企業の社会的責任
変革項目優先順位シート
変革検討シート
※事業構造の確認（参考）

A4判　80ページ　　本体価格：2,000円

『企業変革支援プログラム Ver.２』の３つの意義

1. 「人を生かす経営」の総合実践のため
2. 経営指針の成文化実践のため
3. 同友会運動の発展のため

『企業変革支援プログラム Ver.２』　３つの特徴

1 評価項目の「総合性」

今回の改定に際しては、広く、政策、社員教育、共同求人、障害者問題、など中同協組織の広範なメンバーが参加しました。このことにより、今日的な課題である働く環境づくりやＳＤＧｓなどの社会的責任に関する記述が盛り込まれたほか、共同求人や社員教育などの運動の成果も総合的に反映されました。

2 「評価」から「変革項目の検討」への「連続性」

従来は、ステップ１の評価をしたら「一安心」して、ステップ２まで手が伸びていない状況だったと思います。今回の改定でステップ１の要素とステップ２の要素が統合されたことにより、評価と同時に「めざす成熟度」も考え、「今後の取り組み」を具体化するまでの流れが連続しています。



3 評価点を選んだ理由の「明瞭性」

従来は、評価点を付ける際の根拠が「直感」的でした。そのため、時間が経つと、なぜその評価点にしたのか思い出せないケースがありました。「Ver.2」にはその評価の根拠となる「実践例、考えられる取り組みの例」の欄があり、これをチェックすることで評価の背景を考えることができ、評価点を選んだ根拠が明瞭になります。また、1年後に「なぜ、その評価点にした」のかを振り返ることができます。このプロセスを毎年繰り返すことで、取り組みのサイクルをより効果的に進めることができます。

11月・12月は
「企業変革支援プログラム」
登録・普及月間です。

入力シートのダウンロードはこちら

企業変革支援プログラムを e.doyu で登録しましょう

事前準備 ログイン情報を準備する
e.doyuのログインIDとパスワードがご不明な方は、事務局にお問合せ下さい。

1. e.doyuにログインする
https://okayama.e-doyu.jp/login.html

2. 企業変革支援プログラムを開く
メニューバーから「企業変革支援PG ver.2」をクリックします。



3. データ登録画面を開く
「自社データの登録」をクリックします。



4. 会社情報を確認する
入会時にご登録いただいた内容が表示されます。会社情報に変更がある場合は修正して「個別登録画面へ進む」をクリックします。
※初めて登録される方には「一括登録」より「個別登録」をお勧めします。



5. 成熟度を入力する
各項目の設問に成熟度を入力していきます。「Ⅰ.経営者の責任」～「Ⅵ.企業の社会的責任」どの項目からでも入力できます。現在登録中の項目が緑色、設問に全て回答が完了した項目は、黄緑色になります。
※ピンク色に表示されている場合は、未回答の設問があることを示しています。



各項目で登録する成熟度は、点線枠で囲んだ「成熟度の指標」をクリックしてご参照ください（別画面で0～5までの成熟度レベルの目安が表示されます）。



6. 入力情報を登録する
入力が完了した場合、また一旦保存する場合は、画面を下までスクロールして「この内容で確認する」をクリックします。



登録内容を確認しながら下までスクロールし、全ての設問に回答した場合は「●●年の回答として登録する」を選択、一旦保存する場合は「下書き保存する」を選択し、「登録」をクリックします。



【注意】
「登録」ボタンを押すまではデータが保存されません。途中までの保存でも必ず最後に「登録」ボタンをクリックしてください。

※詳しい登録方法は「入力の手引き」をご参照ください。



第5回 青年部　中国ブロック交流会in山口

2027
1.29
Fri

参加費
12,000円
(懇親会費込)



挑戦 そして 体現者へ

第1部 分科会・全体会　12：45～17：15
ＫＤＤＩ維新ホール
〒754-0041
山口県山口市小郡令和1丁目1-1

第2部 懇親会 五県一体 ～ご縁をつなぐ山口の夜～　18：15～20：00
山口グランドホテル
〒754-0021
山口県山口市小郡黄金町1-1

主　催 (一社)山口県中小企業家同友会

共　催 鳥取県中小企業家同友会　島根県中小企業家同友会
岡山県中小企業家同友会　(一社)広島県中小企業家同友会

青年部中国ブロック交流会の開催意義

1.経営実践に学び、自社の変革につなげる
2.中国５県で、本音で学び合える仲間を広げる
3.企業・地域・同友会の次代を担う人を育む

実行委員長あいさつ



経営の悩みや、これから挑戦したいことを、皆さんは誰と語り合っていますか。仲間の経験や問いかけから、自分の思いが整理され、進む方向が見えてくることがあります。本交流会を、県を越えて本音で語り、互いの挑戦と実践に学ぶ場にしたいと考えています。次の一歩につながる出会いを、山口で。
皆さんと真剣に、楽しく学び合えることを楽しみにしています。

実行委員長　桂木　健太

基調報告

青年部活動と企業経営は不離一体

われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう！

～青年部活動と経営をどのように不離一体とし挑戦、体現してきたのか～



中同協青年部前中国ブロック長
山西　健三氏
映クラ株式会社
売上:75億円
社員数:145名
パート・アルバイト:350名
事業内容
自動車買取販売・飲食事業など



中同協青年部中国ブロック長
木本　康大氏
株式会社ファーストディレクション
売上:1.42億円
社員数:19名
事業内容:商業施設、観光施設における
ライトアップ、イルミネーションの
企画デザイン及び施工、電気工事、設計、
それらに伴う機材の自社輸入及び販売、レンタル



山口県青年部部長
桂木　健太氏
ソニー生命保険株式会社
売上:1700万円
社員数:0名
事業内容:保険・金融に関する
専門アドバイザーとして
生命保険・損害保険・銀行代理業
法人コンサルティングサービス

当日スケジュール

12:45	開　会
13:10	基調報告
14:10	分科会開始
16:55	全体会開始
17:15	全体会終了
18:15	懇親会開始

分科会

第1分科会　経営指針の実践



株式会社クリエイト岡山
代表取締役
梅田　光悦氏
売上:5.2億円
社員数:11名
事業内容:エクステリアの資材卸売業兼工事業者

実践のその先へ

～経営指針を「綺麗ごと」に終わらせない～

経営指針書を先代に「綺麗事」と一蹴され、社内発表もできぬまま、1人だけの指針としてスタートした梅田氏。自分中心の経営から脱却し、社員と共にビジョンを描き、社員教育や人事評価制度など組織づくりに挑戦。社内に笑顔が増え、業績も向上する一方、実践するからこその課題にも直面する。誰のため、何のための経営指針なのか。葛藤を抱えながら理念を刷新し、経営指針を羅針盤に社員と共に歩み始めた実践を報告します。

第2分科会　変革と挑戦　～共に学び共に育つ～



株式会社三宅工業
代表取締役
三宅　憲一氏
売上:2.5億円
社員数:14名
事業内容:製缶全般、一般塗装、トラック仮装

残高サンゼンエン漢からの這い上がり

～気合入ってないやつ聞きに来いッ！～

15歳、年齢を偽り、己の腕と根性だけで社会に飛び込んだ。会社を興し、裏切られ、仲間を失い、残ったのは通帳残高3,000円。それでも「人は金と力でついてくる」と信じ、突っ走った。
同友会で仲間と本気でぶつかる中で、ようやく気づいた。変わるべきは、人ではなく自分だった。
死ぬ気で這い上がってきた漢が、今度は死ぬ気で人と向き合う。これは、まだ道半ばの漢の報告。

開催概要

日　時　2027年1月29日（金）12:45～20:00

会　場　分科会・全体会　KDDI維新ホール
山口県山口市小郡令和1丁目1-1
懇　親　会　山口グランドホテル
山口県山口市小郡黄金町1-1

申　込　中国5県の会員:所属同友会のe.doyuでお申込みください。
それ以外の方 :山口同友会事務局にお申込みください。

参加費　12,000円（懇親会費含む）
※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにしないようにお願いします。
※中国5県からの参加者については、各県からの請求になります。

締　切　（一次締め切り）12月18日（金）~~1月13日（金）~~
※1月13日以降のキャンセルにつきましては全額ご負担していただきますのでご了承ください。

お問い合わせ先
（一社）山口県中小企業家同友会事務局
〒753-0211　山口県山口市大内長野776
TEL:083 941 5741　FAX:083 927 6657
MAIL:info@yamaguchi.doyu.jp

フリガナ		希望分科会	（ご希望の分科会に○を記入してください） 第１分科会　・　第２分科会
お名前			
会社名		日中連絡先	
E-mail			
所属情報	（いずれかに○および都道府県名の記載）※会員以外の経営者・後継者・取締役以上の幹部の皆様もご参加いただけます。（一般社員のご参加はご遠慮願います） 鳥取　・　島根　・　岡山　・　広島　・　山口　・　その他（　　）　・　会員以外（※）		

※本申込内容は本交流会の運営に活用させていただきます。また今後のご案内にも活用させていただきます。

e.doyu参加申込
2次元コード

お知り合いの経営者をご紹介ください！

※同友会の経営者は取締役以上もしくは後継者を指します。

ご提供いただきました情報は入会活動等を活用させていただきます。

岡山同友会の会員が増えると、異なる経営体験を集めた辞書の一頁が増え、私達自身もより多くの経営者の経営体験から学ぶことが出来ます。
同時に、より多くの経営者からの自社に対する意見を聞くことができるようになります。
同友会の学びの実践を通して自社経営の改善を実践する企業を一社でも多く輩出することが、地域を支える中小企業の発展につながり、地域の活性化に直結します。

【入会対象者　紹介フォーム】

← **左記の二次元コードから**
紹介企業を入力いただけます。

↓↓↓　以下の内容を記入いただき、事務局に提出いただくことも可能です　↓↓↓

企業名　　氏　名
役　職　　住　所
アプローチ方法　□ 紹介者がする　□ 紹介者と支部会員が一緒にする　□ 支部会員に任せる
入会案内　□済　□資料のみ(説明未了)　□未了　**入会確度**　□高い　□中くらい　□不明

その他情報 分かる範囲でＯＫ	業種	
	電話番号　／　FAX 番号	／
	E-mail アドレス	
	参考情報 (関係性、経営課題、所属団体等)	

企業名　　氏　名
役　職　　住　所
アプローチ方法　□ 紹介者がする　□ 紹介者と支部会員が一緒にする　□ 支部会員に任せる
入会案内　□済　□資料のみ(説明未了)　□未了　**入会確度**　□高い　□中くらい　□不明

その他情報 分かる範囲でＯＫ	業種	
	電話番号　／　FAX 番号	／
	E-mail アドレス	
	参考情報 (関係性、経営課題、所属団体等)	

<同友会事務局>
ＦＡＸ：086-225-3662
E-mail：info@okayama.doyu.jp

ご紹介者　会社名　（　　）
お名前　（　　）

推薦状（兼 経営幹部入会申込書）

すべての記入欄は必須項目です。未記入の項目がある場合は、事務局より確認のご連絡をいたします

■推薦者（会員経営者）記入欄

記入日	西暦　　年　　月　　日

☐ 被推薦者は同友会の役には就かないことに同意します。
☐ 被推薦者の貴会における活動の責任はすべて推薦者である私にあります。
☐ 被推薦者が幹部としての地位を失った場合、速やかに退会の手続きをとります。
☐ 推薦者である私自身が退会する場合は被推薦者のみが会に在籍することを避け、会員資格を有する後任経営者に会員を引き継ぎます。
☐ 被推薦者の会費の納入は口座振替を以って行います。
☐ 初回会費（2 か月分、14,000 円）については請求書記載の期日までにお支払いします。一旦払い込まれた会費は、退会の期日に関わらず返金を求めません。

社　　名			
氏　　名		役　　職	
会社所在地	（〒　　）		
会社 TEL		会社 FAX	

■被推薦者（入会希望者）記入欄

フ リ ガ ナ			
社　　名	※推薦者の情報と異なる場合のみ記入してください		
所 在 地 連 絡 先	※推薦者の情報と異なる場合のみ記入してください 〒		
	TEL	FAX	
フ リ ガ ナ		生 年 月 日	
氏　　名		西暦　　年　　月　　日	
役　　職		携帯電話	
E - m a i l	※会からの重要なお知らせに加え災害時の安否確認等の際に必要です。携帯電話のメールアドレスは容量制限等により受信できない場合がありますので、スマートフォンやパソコンで確認できるメールアドレスをご記入下さい。		

☐ **岡山県中小企業家同友会規約第 8 条のとおり、私は反社会的勢力ではなく、また反社会的勢力とも関係はなく、今後もそれに該当しないことを確約します。** 👈本内容に問題ないことを確認し「✓」を付けてください

尚、当申込書の登録内容は、会活動において会員名簿やホームページ掲載、行事参加登録、参加者名簿作成、機関紙・チラシの発送データ、その他活動に必要な場合は資料又はデータとしての配布等に活用します。また、利用目的の範囲内で情報の取り扱いを中同協等に委託する場合があります。

事務局記入欄

受付者	支部	地区	会員台帳	会費台帳		

26.06 改

岡山県中小企業家同友会 会員の皆様へ

見づらい…

検索順位が低い…

長らく更新が止まっている…

お問い合わせが来ない…

ホームページ、作っただけで止まってませんか？



ほったらかしのHPを、売上につながる武器に育てる「Webソリューションプラン」とは？

詳しくは裏面へ

サンコー印刷株式会社
Aiming for the future together with
〒719-1137 岡山県総社市駅南一丁目1番地5

TEL 0866-93-2121
FAX：0866-93-9601 E-mail：eigyo@sankopr.co.jp
まずはお気軽にお電話ください!
お電話受付時間 8:30~17:00(土日祝除く)

サンコー印刷HP
お問い合わせ▼

Webソリューションプラン

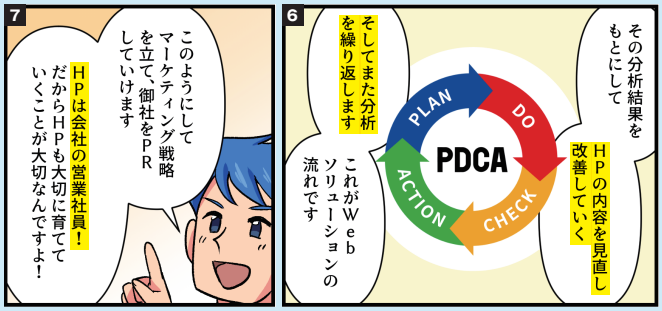


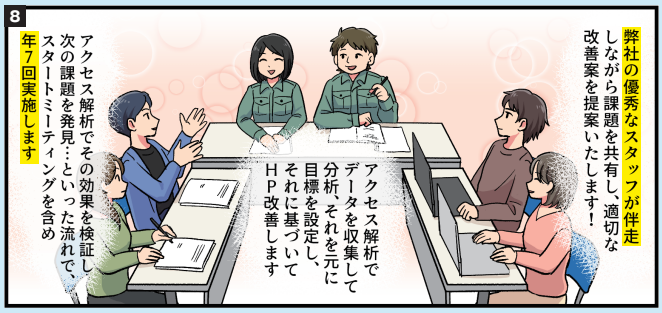
サンコー印刷の Web ソリューションプランとは、ホームページの閲覧データをもとに、
課題や改善点を分析し、より効果的なホームページへと成長させていくために、
お客様と弊社アドバイザーが二人三脚で取り組むサンコー印刷独自のサポートプランです。

このプランでできること

- 定期的なサイト診断と改善提案
- 検索されやすいページ設計
- ホームページ更新のサポート
- 問い合わせにつなげる流れづくり









Webソリューションプランで こんなイイことが!



価値観の再発見

一緒にホームページの目的や強みを見直しながら、**自社の価値観を改めて考える機会**にしていただけます。



運用負担の軽減

タイムリーな情報発信ができるよう、スタッフが**ホームページの更新作業をしっかりサポート**します。



SEO対策の強化

ターゲットユーザーにしっかり届くホームページへと育てることで、**集客や問い合わせにつながる導線づくり**をサポートします。

気になっている方も、お悩みの方も、
まずはお気軽にご相談ください!

料金　プランの流れ　等
Webソリューションについて
詳しくはこちら!

Web
ソリューション
特設ページ

マンガ
『Webソリューションのススメ』を読む ▸



サンコー印刷株式会社
Aiming for the future together with
〒719-1137 岡山県総社市駅南一丁目1番地5

TEL 0866-93-2121
FAX：0866-93-9601 E-mail：eigyo@sankopr.co.jp
まずはお気軽にお電話ください!
お電話受付時間
8:30～17:00(土日祝除く)

サンコー印刷HP
お問い合わせ▼